

勉強会 趣旨

令和2年7月豪雨等の近年洪水、及び気候変動下で高まる水害リスクを踏まえ、楨川流域における流域治水対策の取組みについて町・国・県が連携し、流域の特徴及び被害形態等を踏まえた検討を行う。

開催状況

- 日 時：令和6年7月22日（月）14:00～15:00
- 場 所：河北町役場 301会議室
- 議 事：（1）「楨川流域治水勉強会」の設置について
（2）現状の共有について
 - ①楨川流域の概要
 - ②令和2年7月豪雨の振り返り（国、町）
 - ③これまでの取組（国、県、町）
- （3）検討方針について

主な意見

【河北町】

- ◆気候変動により大雨災害が頻発し、治水対策の難しさを感じている。
- ◆国、県、町、関係機関、住民が一体となって取り組み、避難も含めた対策が重要。
- ◆具体的な対策内容や役割分担を検討し、地域との関係を築いていく必要がある。

【国土交通省】

- ◆令和2年7月の水害を受け、最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトについては、令和11年度を目途に進めている。対策が進めば、楨川合流点においても水位低下が見込まれる。
- ◆引き続き、流域治水の推進について、ハード対策だけでなく、ソフト対策も一体となって進めていきたい。

【山形県】

- ◆気候変動により降雨量が増え、災害リスクが高まっているため、皆が危機感を持って対策に取り組んでいる。
- ◆県では、大型土のうを設置し、今後、管理用通路の嵩上げも進めていく。
- ◆シミュレーションの結果、ハード対策だけでは限界があるため、国、県、町が一丸となって流域治水を進める必要がある。各主体が役割を分担し議論しながら協力体制を構築し、より良い対策を考えることが重要。

出席者

- 河北町
 - ・森谷町長 ・河内副町長
 - ・須藤防災・危機管理監兼総務課長 ・真木防災危機管理課長
 - ・佐藤農林振興課長 ・土方都市整備課長 ・大泉上下水道課長
- 国土交通省 山形河川国道事務所
 - ・森田所長 ・山影副所長 ・今野流域治水課長
- 山形県
 - ・県土整備部 小林県土整備部長、佐藤河川課長、高橋流域治水推進室長
 - ・村山総合支庁（西村山） 鈴木建設部次長、土田河川砂防課長

勉強会 開催状況



森谷町長挨拶



国土交通省 森田所長発言状況



山形県 小林県土整備部長発言状況



勉強会 開催状況